



須坂市立常盤中学校だより

碧空



平成31年4月9日(火)

第1号

平成31年(令和元年)度がスタートしました。本年度も、保護者の皆様、地域の皆様と共に常盤中学校の子どもたちを育てて参ります。ご理解とご協力よろしくお願ひいたします。

入学始業式 学校長式辞より(抜粋)

厳しい寒さを耐え抜いた桜の蕾も膨らみ、足元に目をやると、オオイヌノフグリが可憐に花を咲かせています。いよいよ、万物が躍動する春がめぐってきました。

このよき日に、須坂市長様代理まちづくり推進部長 滝沢健一様はじめ、多くのご来賓の皆様、保護者の皆様、PTA役員の皆様のご臨席を賜り、百二十六名の希望に満ちた新入生を迎え、平成三十一年度常盤中学校入学始業式を盛大に挙行できますことを、皆様と共に喜び合いたいと思います。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは、今日から、常盤中学校の生徒です。希望に満ちあふれた皆さんの入学を、二、三年生、教職員一同、心から歓迎します。

今、皆さんの胸の中には、大きな希望や期待と共に、小さな不安があるかもしれません。しかし、大丈夫です。皆さんが安心して、素晴らしい中学校生活を送れるように、先生方も上級生も精一杯後押しをし、応援をしていきます。安心して下さい。

本校には、「自主高潔」という学校理念があります。そのことに関連して、中学生として大事にしてほしいことを三つお話しします。

一つ目です。中学校は、人として、より良く生きていくことができるようにするための学習をする場所です。教科の学習はもちろんですが、挨拶、清掃、校友会、部活動などもすべて皆さんを育ててくれる学びの場です。

生きてると、苦しいことや悲しいことがあります。全ての人にあります。それでも人は、それを乗り越えて、幸せに生きていくことができます。

そうやって生きていくことができるように、全てのことから、全ての人から、学んでいく場所です。

二つ目です。自分の良さを発揮するということです。人は、誰一人、同じ人はいません。相田みつおさんの言葉に、「他人のものさし、自分のものさし、それぞれ寸法がちがうんだな」という言葉があります。一人ひとり感じ方や考え方が違っていても良いのです。

大事なことは、今ある自分の力を最大限に発揮する勇気と努力と心です。一人ひとり自分が、今できることは何かを具体的に考え、その一つ一つを一生懸命に、心を込めて行い続けることです。そうやって、本物を目指して、求め続けていけば、求め続けている物の方から、こちらに歩いてきてくれるのです。

三つ目です。人を大切にするとということです。人として尊敬される人は、人を大切にします。友をみく

だしたり、いじめたり、差別したり、暴力をふるったりすることは、人として最もさみしいことです。これまでも、皆さんは多くの人たちに、助けられ支えられ生きてきました。

困っているあなたに、友がかけてくれた言葉がどれだけ温かく、そして、うれしく感じたことでしょうか。あなたが、友にかけた言葉が、どれだけ友を励まし、助け、支え、育ててくれたことでしょうか。

お互いを支え合い、高め合う経験をたくさん積み重ねて欲しいと、心から願っています。

保護者の皆様。お子様のご入学を心からお祝い申し上げます。私たち常盤中学校の教職員一同、学校という場で、精一杯お子様の成長のために力を尽くして参ります。どうかお子様の成長を温かく見守っていただきたいと思います。

家庭と学校は、車の両輪にたとえられます。互いの信頼と連携を大切に、さらには地域のご支援をいただき、未来の須坂市、そして社会を担う生徒の教育を推進して参りたいと思います。どうかよろしく願いいたします。

続いて、二、三年生の皆さん、進級おめでとうございます。今日から、三百五十一名の常盤中学校の平成三十一年度の第一学期が始まります。

このメンバーみんなで、本年度の常盤中学校を1日1日創り上げていきます。より一層、素晴らしい常盤中学校を、みんなで創り上げるために、三つの願いをします。

一つ目は、中学校は学習するところであるということ、いつも自覚していて欲しいということです。学ぶことには喜びがあります。学びによって自分を高めることができます。同時に、学びの成果が現れるためには、時間をかけて何度も何度も繰り返さなければ、成果があらわれません。あきらめずに、自分の力を信じて、自分が納得するまで学び続けてほしいと思います。それが、学ぶ喜びを実感し、自分の素晴らしさを発見し、自分を鍛え育て、自分自身を高めることになります。

二つ目です。一人一人が安心して過ごせ、誰もが主人公となったり、声を掛け合い、励まし合い、支え合い、高め合う学級を作ってほしいということです。

学級編成替えを行った二年生は、人間関係をさらに広げ、新たな学級づくりにチャレンジしてください。

中学生最後の年度となる三年生は、これまでの学級づくりの積み重ねを活かして、「理想の学級の完成」に向けてスタートを切ってほしいと思います。

三つ目は、「一人ひとりが信頼される人になる」ということです。

人は絶対に、一人だけで生きていくことはできません。人は他の人と関わり合って生きています。お互いが信頼し合って、より良く生きていくことができます。信頼し合うためには、自分が信頼される人にならなければなりません。信頼される人になるために、自分が信頼される行動をし、自分の役割を一生懸命行うことと、感謝の気持ちを持って、お互いに支え合うことを、心を込めて行って欲しいと思います。

結びにあたりまして、ご多用の中をご臨席賜りましたご来賓の皆様、保護者や地域の皆様はじめすべての皆様に改めて感謝申し上げます。今後とも、常盤中学校の生徒が、日々成長し向上していきますようこれから今までと変わらぬご指導とご支援を切にお願い申し上げます、式辞といたします。

○常盤中学校年度始めの様子より

自分は何組かな



片桐茂和校長先生をお迎えしました。



ドキドキの入学式。新入生徒代表あいさつも堂々とできました。



黙々清掃、頑張っています。

カバンが整然とロッカーに入れられています。

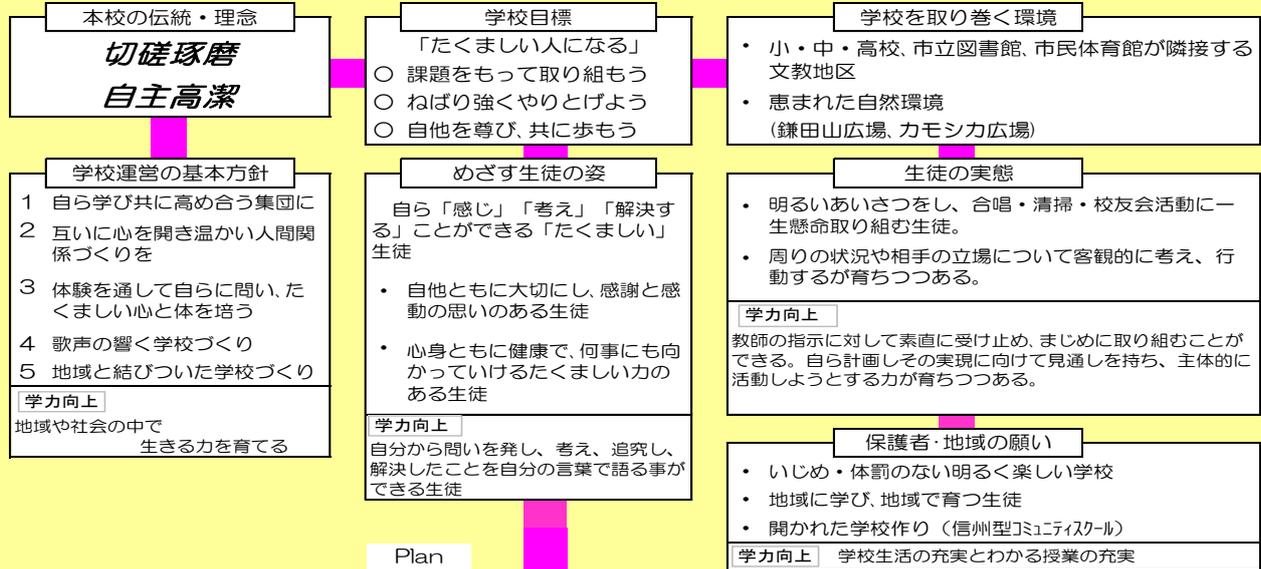
本年度、こんな学校づくりを目指します！

～平成 31 年度 常盤中学校グランドデザインから～

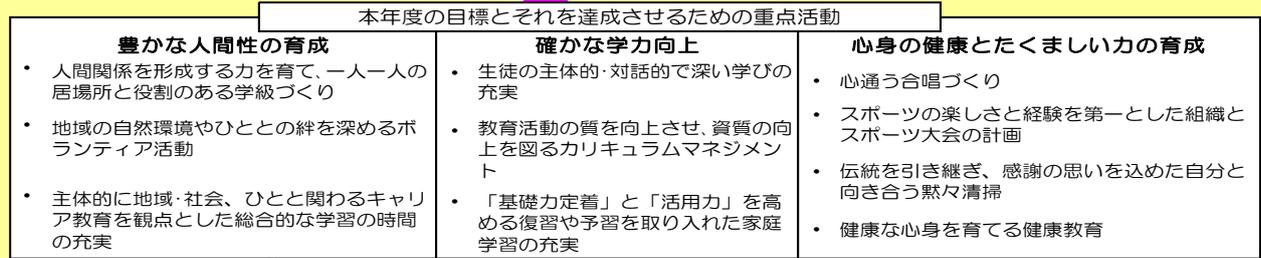
平成 2019 年度

須坂市立常盤中学校

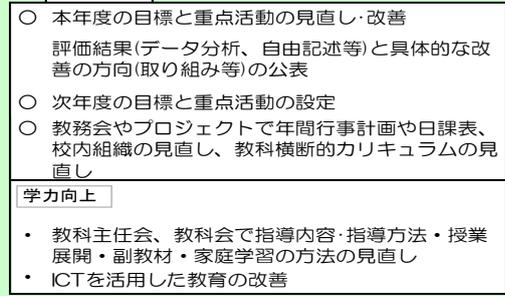
グランドデザイン



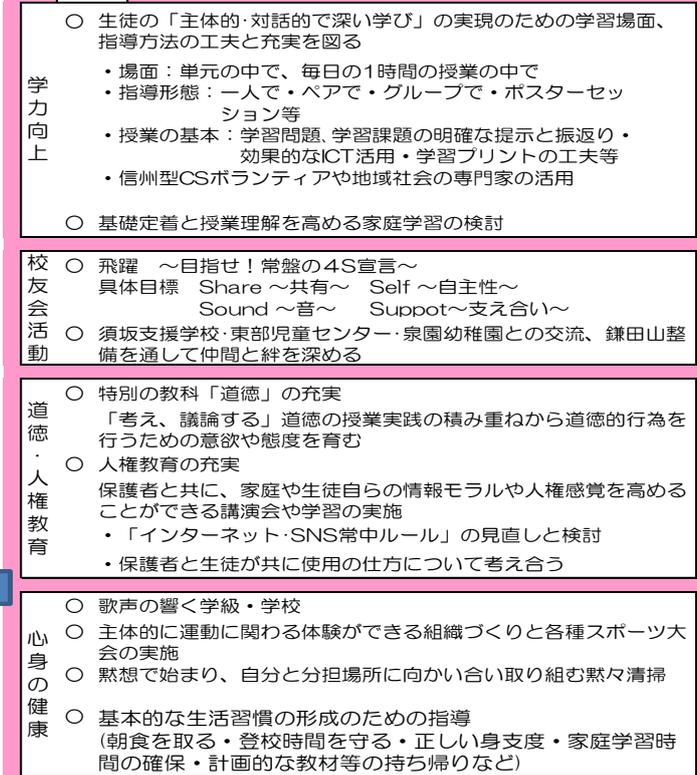
Plan



Action



Do



Check

